

備後ふくやま伝統産業展

11月14日(土)・15日(日)

ふくやまこと

●展示・演奏

琴演奏の体験コーナー

- ・ワークショップ
ストラップをデコっちゃおう!
マイ琴爪を作ろう!

市立福山高校特別参加

- ・琴のお手入れ&
購入アドバイス、他

びんごたたみおもて

●展示・販売

ミニ畳製作体験コーナー

- ・編笠・円座工芸士の
笠・円座製作実演など

まつながた

●展示・販売

日時:2026年 11月14日(土)・15日(日)

14日 11:00~17:00

15日 10:00~16:00

◆入場無料

場所: iti SETOUCHI(イチセトウチ)／エフピコRiM1階

福山市西町1-1-1 TEL084-959-4650

主催: (一財) 備後地域地場産業振興センター TEL084-924-4510

備後ふくやま伝統産業展実行委員会

開催当日の連絡: 090-6414-5496 渡辺

後援: 福山市・福山商工会議所・エフエムふくやま・(一財)義倉



◆交通ご案内

<JRご利用の場合>

山陽新幹線・山陽本線・福塩線
福山駅から徒歩7分

<駐車場>

第1・第2駐車場では最初の1時間
どなたでも無料

150円/30分

入庫後24時間毎 最大700円

[8:00-18:00] 最大600円

[18:00-8:00] 最大500円

24時間営業

※車いす対応13台(第1駐車場)

ともほうめいしゅ

●展示・販売

- ・保命酒スイーツなど販売

保命酒愛好家による
「保命酒 Bar」オープン!

4社飲み比べ、割って
飲むのもお勧めです

びんごがすり

●展示・販売

ワークショップ

- ・備後絣きんちゃく紐通し
- ・備後絣タッセル

11/15(日)のみ

- ・備後絣の折りばら等の
販売とワークショップ

坪生小学校特別参加

織物工場のジオラマ展示

備後絣プロジェクト

×

福山大学工学部

同時開催イベント

じばさんフェア 2026

◆入場無料

びんごのものづくり展示、販売、実演

飲食ブース&ステージイベント

11/14(土)

①11:30~ ②14:00~

- ・備後絣音頭 (備後絣音頭をつなぐ会)
- ・備後畳表の唄と踊り (神村6区ひまわり会)

11/15(日)

①11:00~ ②14:00~

- ・地元演奏家による
福山箏(こと)演奏





●ふくやまこと 176 年の歴史

江戸末期の嘉永年間（1850 年頃）、牧本長蔵氏・菅波甚七氏が製造技術、技法を確立したといわれています。以来、その技術が受け継がれ、明治末期には、伝統技法を生かしながら作業工程を改善、分業化し、より精緻な製造技法が確立され、今日における福山の琴づくりの基礎がつけられました。

製品は、手づくりの良さが随所にあふれ、音色が冴え、長年の使用に耐える優秀な琴として有名で、昭和 60 年「伝統的工芸品」指定、平成 18 年「地域団体商標（地域ブランド）」に登録されました。



連絡先：
福山邦楽器製造業協同組合
福山市西町 2-10-1
福山商工会議所 内
☎084-921-2349



●まつながげた 148 年の歴史

はきもの産業の発祥の地「松永」。明治 11 年（1878 年）、塩を焚く材木に着目し、桐に似た雑木下駄の製造が始まりました。明治 40 年頃には機械化に成功し、大量生産の基礎が作られ、大正・昭和初期の不況にも耐え抜いて全国一のげた産地となりました。

昭和 40 年代には、はきもの総合産地「松永」として拡大を進め、現在では個性化にすばやく対応し、消費者のニーズに合った、はきものを製造しております。



連絡先：
広島県はきもの協同組合
福山市南松永町 3-1-59
☎084-934-3322
<http://www.e-hakimono.com/>



●びんごたたみおもて 679 年の歴史

1347 年、「師守記」に「備後筵（びんごむしろ）」の記載があり、備後表は天文年間（約 450 年前）、沼隈町山南地方に野生していた蘭草（いぐさ）を水田に栽培し、これを製織したものが始まりと言われ、慶長年間（約 400 年前）、福山藩の産業として奨励されたため、産地としての基盤が形成されました。

表皮が厚く、光沢があり、青味を帯びた銀白色の美しい蘭草を厳選した当地の畳表は、全国的に名声を博し、「備後表（びんごおもて）」の名で愛用されています。平成 20 年「地域団体商標（地域ブランド）」に登録されました。



連絡先：広島県蘭業協会
福山市松永町 5-3-5
☎084-933-2004
<http://homepage2.nifty.com/bingoomote/>



●びんごがすり 173 年の歴史

備後紺は、江戸末期（1853 年）、芦田町に住む富田久三郎氏が、麦藁屋根の押し鉾竹がすすで汚れて白と黒とに染まっているのにヒントを得、木綿糸をつむぎ、手で括り、正藍で染めて、紺織物を作ったのが始まりでした。昭和 30 年代には工業生産化され、全国の紺生産の 7 割を占めました。

久留米紺、伊予紺とともに日本三大紺の一つと称され、平成 4 年「広島県指定伝統的工芸品」に登録されました。



●ともほうめいしゅ 367 年の歴史

大阪の漢方医、中村吉兵衛が考案した 16 種の薬草を使った薬味酒で、万治 2 年（1659 年）に鞆（とも）で製造が始まり、江戸幕末、黒船で来航したペリー、ハリスに江戸幕府老中首座、阿部正弘（福山藩）が振る舞いました。

アニメ「崖の上のポニョ」に登場する「命の酒」のモチーフになっていると言われています。



連絡先：鞆保命酒協同組合
福山市鞆町 595
☎084-970-5374

●福山市について

福山市は人口 45 万人の中核都市で、瀬戸内海沿岸、広島県東部に位置します。万葉の時代から栄え、江戸時代の風情を残す景勝地「鞆の浦」は世界の人々を魅了し、JR 福山駅前直ぐ近くにある「福山城」は 2022 年に築城 400 年を迎えました。市の花「ばら」をモチーフにして、毎年 5 月には市最大のイベント「福山ばら祭」が開催され、2025 年 5 月に「第 20 回世界バラ会議福山大会 2025」が開催されました。



備後ふくやま伝統産業展は福山に所在する伝統産業 5 組合が協力して 2010 年 3 月に初開催し、毎年 1 回開催しております。（2021 年は休止）